

第3回帯広市総合計画策定審議会第3専門部会 議事概要

1. 日 時 平成20年2月18日(月) 9:30~12:00

2. 場 所 市役所5階フロアー会議室

3. 議事概要

(まちづくりの課題と取り組みの基本方向について)

(1) 景観について

【委員】

本州の人は飛行機から見た畑など農村の景観に感動するもの。農村の景観を大切に
する視点が必要。

【委員】

空港から街に入るまでの間の道は帯広の顔になるものだが、その間に街路樹もなく
景観らしいものがないというイメージがある。景観はどうあるべきかという議論とそ
れをどう実現させるための誘導施策が必要ではないか。

【部会長】

外から帯広に入ってくることを考えると、芽室から国道で帯広に入る時の景観、飛
行機から見える畑や空港から街に移動するまでの間など飛行機で入る時の景観、鉄道
高架から見える街並みと駅から降り立った時の鉄道で入る時の景観という3つのエン
トランスを考えたときに統一感を持った景観ができないものか。

様々な関係者がバラバラの考え方でそれぞれ取り組むのではなく、どこかが中心と
なって景観づくりの統一的な考え方をを持った上で、連携した取り組みがすすめられ
ないか。

【委員】

例えば審議会的なところで統一的な考え方を整理した上で関係機関に協力を求める
などが必要。

【委員】

景観はそれぞれの感性が働くものであり、見る人によって見え方も異なるのだと思
う。現在は花の植え方も街路樹も統一されていないバラバラの感じがある。景観を考
える上では十勝の景観とはどうあるべきなのかという共通認識を持つことだと思う。

【委員】

市の花・木であるクロユリやシラカバが帯広ではあまり見られないように思う。防風林とともに、こうした地域ならではのものを活用した景観づくりが必要ではないか。

【委員】

シラカバは花粉症などマイナスのイメージもあるが品種の改良も進んでいる。また、桜を植えたいという話もよく聞くが、北海道の中でも十勝は特に条件が厳しく、慎重に樹種など検討することが必要。

春の景観だけでなく、秋のカラマツなどそれぞれの季節に対応した景観づくりを考えることも必要。

街並みの景観をつくるためには、まちなかの消費者金融など看板の規制も必要ではないか。

【委員】

一歩進んで商業施設に対する景観の誘導なども考えなければならないのではないか。ローテンブルグの町は景観が観光資源なので、看板などに対しては強い規制がある。

【部会長】

歴史がある古い街と異なり、歴史が浅い帯広ではなかなか守るべき景観がないという難しさがあるが、統一感があるものが必要だと思う。

【委員】

他の街では、ガードレールや信号柱の色などが統一的にデザインされているところがある。

【委員】

ちょっとしたアクセントで統一感を持たせる方法もあるものと思う。他の街では建物の色など単に統一しているだけのところがあるが味気ない印象を受ける。帯広らしさを出しながらアクセント的に統一的なものができるか。

【部会長】

都市景観基本計画や都市環境デザイン委員会など既存の枠組みを踏まえながら実効性のある取り組みを進めることが必要。

【委員】

まちの賑わいも一つの景観といえるのではないか。中心部の空き地が駐車場になっているが、せっかくの都市部を賑やかにすることも街の景観づくりといえるのではない

いか。

【委員】

街の発展を考えるなら空き地の固定資産税を減額することなどが必要。今、美術館でパリのポスター展示をやっているが、昔、パリの街角は様々なポスターで彩られ、それがパリの景観となり、ポスターを描くデザイナーがそこから育っていったという。帯広でもそうしたものができないものか。

【委員】

夜の街並みも変えなければならない。サンフランシスコは夜のウインドウショッピングが楽しい。遠くから眺めるのではなく通りを歩く楽しさや心があたたかくなるような景観も必要ではないか。

【部会長】

各商店街レベルの取り組みではなかなか活性化が進まない現実もあるが、一方で中心部のマンションに住み人が増えている状況もある。空き地にマンションが建ち、人が住み、街を歩く人が増え、店もはやるといい循環を作るため、中心街に住む人を増やすことが必要。

【委員】

札幌でも郊外の家を売って街中のマンションに入る人が増えているという。帯広でもそうした方向になってくるものと思う。

【委員】

海外の寒い地方では、太陽光が入る半地下のアーケードになっているところが多い。統一感を持たせるなら組合などで取り組むことも必要。

(2) 生活道路について

【委員】

除排雪は10年前と比べると良くなっているように思う。不満に思っている人も多いようだが贅沢になってきている部分があるのではないか。

【委員】

高校生の自転車通学のことを考えると歩道はもっと広くてもよいと思う。

【委員】

道路の車線誘導の矢印が不可解なものがある。

【委員】

学校の統廃合で、ある地域では自転車が多く通るところを子どもが通わなければならない状況が発生する。こうした状況を踏まえて歩道整備や歩行者と自転車の分離など考えなければならない。

【委員】

車道を除雪した雪が歩道に堆積されるのは危険に感じる。

【委員】

除排雪が良くなったとは感じられない。朝の段階で雪が相当量積もっていても除雪が来るのは夜になってからということがある。

【委員】

昔に比べたらかなり良くなってきていると思う。ただ、道内他地域に比べると技術的ば部分でまだ改善の余地があるものと思う。また、不十分ではあるが、町内会で除排雪をする場合に補助する仕組みもある。

【委員】

例えば、区画整理をするときに宅地面積を減らしても道路幅を広くとり、排雪しなくても済むように車道内に雪が堆積できるようにできないものか。多少土地の価格が高くなって付加価値になるのではないか。

【委員】

違法駐車を除雪の大きな妨げになっている。

(3) 公園・緑化・河川について

【委員】

街の中にあまり大きな木がないように感じる。帯広では木が電線に達するまで成長すると、それ以上伸びないように剪定してしまうところがあるが、本州などでは電線を通り越してその上に枝を伸ばし、木を大きく育てていく剪定の仕方になっている。また、公園の利用では、制限が厳しく飲食や火がだめと言われることがあり、利用が限られてしまう。規制は必要だがもう少し緩やかにして色々なことに使えるようなならないものか。

【部会長】

公園は利用されてはじめて価値があるもの。地域で使いやすい形になれば利用も進むのではないか。

【委員】

ベンチなどがある昔ながらの公園はあちこちにあるが、木や芝生がありくつろげるような公園は少ない。

【部会長】

比較的新しい公園は、遊具中心ではなく、木や植栽などを活かしたものになってきており、これまでとは整備内容が変わってきている。今後リニューアルする中でそうした公園が増えれば良いのではないか。

【委員】

駐車場があって、広くて、水で遊べることが人が集まる公園の要素のように感じる。

【委員】

ちびっ子広場は地域で管理しているが、遊具は老朽化しており修繕しながら使っている。維持管理への支援も必要。草刈なども相当な負担となっているが、地域で汗をながして管理しており、こうした部分がまさに市民協働であり、支援も必要な部分であると感じている。また、岩内自然の村は道外に向けて発信すべき。道のポロシリの森と連携すればアピールできるものと思う。

【委員】

地域の魅力は外の人の方が良く知っていることが多い。こうした人たちの意見を取り入れながら外部に発信した方が良い。

【部会長】

農村部でも外から来た人が地域でリーダー的に活躍している。外の目で帯広を見てもらうことがあったほうがよい

【委員】

街路樹は電線にかからないように大胆な剪定がされているが、電線と木の植え方の位置関係をもっと考えられないか。

【委員】

角の一等地はコンビニなど商業施設になっていることが多いが、海外との違いはこうした商業施設に緑が全くないこと。角の目立つ場所に緑がないから緑が少ないように見えるということもあり、交差点のちょっとしたところに緑を植えると印象がずいぶん変わるのではないか。商業施設こそなんらかの誘導策で緑化する必要があるのではないか。

また、手入れの手間を省くため、植栽する代わりに緑色のシートを張ってあるところもあるが、街路樹の剪定で出た枝のチップを敷き詰めるなど手間のかからない方法もある。

【委員】

市内にも特に紅葉時期など美しい景観の通りもある。季節によって変わるものが街路樹になっていくとよいと思う。

【委員】

みどりと花のセンターに行くと植物に対する様々な情報が得られるが、一般にはあまり知られていないのではないか。

【部会長】

センターでは木の剪定の仕方、ドライフラワーの作り方など色々な講習もやっており、こうした施設をもっと活用することも必要。

【委員】

木が伐採されるなど、河川工事にあたっての環境配慮が少ないように感じる。河川工事をする場合は、自然景観を残し川に住む小魚などへの配慮が必要。

【委員】

かつてはドブ川ばかりだったが、川の水質という点で言えばかつてに比べて良くなっている。

【委員】

緑ヶ丘公園のボートなど昔は水に親しむ機会が多かったと思うが最近はその機会があまりないように思う。

【部会長】

ポロシリのキャンプ場やパークゴルフ場は地元以外の人に特に喜ばれている。自然の状態を活かした魅力があり、もっと外に対する情報発信が必要ではないか。

(4) 上下水道

【委員】

他のまちと比較しても下水道の普及率が高いのは良いことだが、上下水道料金が高いのがネック。

【部会長】

帯広のおいしい水の水質を今後も守っていくことが必要。

以上